



画面の向こう、机の向こうにある「心」～優しさを育む月間に向けて～【6月校長講話】

みなさん、おはようございます。今、学校では6月の「前期人権同和教育月間」を迎えています。今月のテーマは「優しさを育む月間」です。目標は、「学級や学年の友達関係を見返し一人ひとりが尊重される学級、学年をみんなで築いていくこと」です。ここで、みなさんに少し胸に手を当てて考えてみてほしいことがあります。最近、クラスや部活動やクラブ活動、あるいはスマホの中で、誰かの「陰口」や「無視」、「仲間はずれ」を目にしたり、自分がしてしまったことはありませんか？「これくらい普通だよ」「みんなやっているし」と、見過ごしていませんか？今日、私は多くの人が使っている「SNS」を例に挙げながら、私たちが目指すべき「優しさ」と「人権」について話をします。

みなさんにとって SNS は、毎日使う便利で楽しい道具だと思います。しかし今、全国の中学校や高校で、SNSの使い方をめぐる悲しいトラブルがたくさん起きています。実際にあった、ある中学校の話です。ある生徒が、友達が失敗して転んだ姿を面白半分にスマホで動画に撮り、「ウケるから」「仲が良いから冗談のつもりで」とネットに投稿しました。動画はまたたく間に広がり、撮られた生徒は深く傷つき、恥ずかしさのあまり、学校に来られなくなりました。投稿した本人は「冗談」だと言いました。でも、これは冗談ではありません。立派な「いじめ」であり、相手の権利を奪う「人権侵害」です。私たちが絶対に忘れてはならない【言葉の重み】です。それは、「画面の向こう、そして机の向こうには、自分と同じように心を持つ人間がいる」ということです。文字や動画は、相手の顔が見えません。だからこそ、自分が放った一言が、刃物のように相手の心を切り裂いていないか、立ち止まって想像する力が必要です。

一人ひとりが尊重される学級を作るためには、何が大切なのでしょう。キーワードは、【違いを認める】ということです。私はみなさんに「違って当たり前」だと伝えたいと思います。自分の「普通」は、他人の「普通」ではありません。見た目、勉強やスポーツの得意・不得意、性格、みんな違います。その違いをからかったり、排除したりするのではなく、「そういう人もいるんだな」

私たちが目指す「優しさ」

一人ひとりが尊重される学級・学年をみんなで築くこと

胸に手を当てて考えてみてください。

最近、誰かの「陰口」「無視」「仲間はずれ」を目にしていますか？

「これくらい普通だよ」「みんなやっているし」と見過ごしていませんか？

言葉の重みと「見えない顔」

失敗して転んだ姿を撮影

刃物のように心を切り裂く

文字や動画は、相手の顔が見えません

Sender Receiver

「いじり」と「いじめ」の境界線

発信者の錯覚	受信者の現実
「ウケるから」	深く傷つく
「仲が良いから」	恥ずかしさで学校に行けない
「ただの冗談」	尊厳を奪われる

これは冗談ではありません。相手の権利を奪う【人権侵害】です。

「自分の普通」は「他人の普通」ではない

自分の「普通」

Core Insight

見た目、得意・不得意、性格、みんな違います。

からかったり排除するのではなく、「そういう人もいるんだな」と受け入れること。

【違って当たり前】

他人の「普通」

命の尊厳を守る「権利」と「義務」

権利	義務
嫌なことをされたら、勇気を持って「嫌だ」と言っていく権利	友達から「嫌だ」と言われたら、真実に受け入れる義務

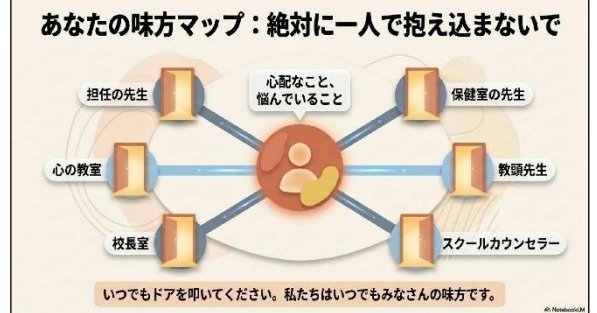
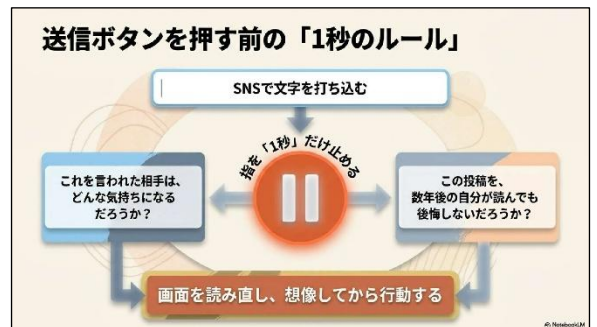
絶対に傷つけられてはならない【命の尊厳】

いじめ、差別、陰口、無視、物かかし、仲間はずし、SNS上の誹り = 相手の尊厳を侵す行為

と受け入れる。それが多様性を尊重するということです。そしてもう一つ大事なことは、みなさんの命も、隣にいる友達の命も、絶対に傷つけられてはならないという

【命の尊厳】があります。もし、自分が嫌なことをされたら、勇気を持って「嫌だ」と言ってい権利があります。同時に、友達から「嫌だ」と言われたら、それを真摯に受け入れる義務が私たちにはあります。「いじめ、差別、陰口、無視、物かくし、仲間はずし、SNS上での悪口」。これらはすべて、相手の尊厳を侵す行為です。

「優しさを育む」というのは、難しいことではありません。今日からできることがあります。SNSで文字を打ち込んで「送信」のボタンを押す前に、指を1秒だけ止めて、もう一度画面を読み直してください。「これを言われた相手は、どんな気持ちになるだろうか」「この投稿を、数年後の自分が読んでも後悔しないだろうか」と立ち止まってほしいと思います。もし、今みなさんの中で、自分のことや友達のことや心配なこと、悩んでいることがある人は、絶対に一人で抱え込まないでください。担任の先生はもちろん、保健室の先生、教頭先生、スクールカウンセラーの先生、そして私も、いつでもみなさんの味方です。学校には、「校長室」「保健室」「心の教室」という、みなさんの話をじっくり聞くための窓口があります。いつでもドアを叩いてください。今月の「優しさを育む月間」の【優しさ】とは、相手の痛みを想像する力です。一人ひとりが勇気をもって行動を起こし、全員が笑顔で、安心して過ごせる学級・学年を、私たちみんなで築いていきましょう。



P T A 講演会開催 授業参観、P T A 活動へのご参加ありがとうございました



6月11日(木)長野県警察本部生活安全課の さんを講師に迎え、P T A 講演会が開催されました。演題は「性被害を正しく知る～誰にでも起こる危険性～」です。前述の校長講話の内容とも重なって、身の回りに潜む危険事象を知り、保護者の方々と一緒に日頃の行動を振り返る機会となりました。

保護者の皆様へ(お願い・お知らせ)

○行事や部活動等予定が多い時期ではありますが、暑さが続くことが予想され、校内でも熱中症予防について注意喚起しています。ご家庭でも ①朝食や水分補給の徹底 ②十分な睡眠・休養の確保 ③朝の健康チェック 等のご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします

◎「いじめ・人権・セクハラ・体罰」

相談窓口は校長室・保健室・心の教室です

校長室、保健室、心の教室を相談窓口として設置しています。何か困ったことがあったら相談できる場所です。一人で悩まずに相談してみましよう。保護者の方もご利用ください。

◎「非違行為防止研修」に取り組んでいきます

地域に信頼される安心・安全な学校づくりを目指して、年間を通して防止、研修に取り組んでまいります。5月は生徒とのかかわり方について考え、自身の言動について振り返る研修を実施しました。

山ノ内町立山ノ内中学校
 文責： (教頭)
 TEL 0269-33-3604
 Fax 0269-33-8438